

2016年度 恵星幼稚園「保護者アンケート(外部評価)」のご報告

1月27日に行った保護者アンケート(学校関係者外部評価)の集計をご報告いたします。
今年度も保護者の皆様のご協力ありがとうございました。貴重なご意見・ご感想をいただき感謝しています。
お寄せいただいたご意見・ご感想は個人が特定される箇所のみ削除し、似たようなご意見はまとめて記載しています。また、回答が必要なものに関しては、職員会議・理事会で園の考え方や今後の対応を検討した結果を記載しております。この機会に限らず、ご意見やご質問があるときはいつでもお気軽にお申し出ください。
いただいた内容は全職員で共有し、皆さまのお気持ちをよく受け止めて今後の保育に反映してまいります。

A：よくできている B：できている C：あまりできていない D：全くできていない

	内 容	A	B	C	D
1	子どもは、幼稚園での生活を楽しんでいる。	54	10		
2	幼稚園は、子どもの中にキリスト教保育を通して「見えないものに目を注ぐ心」や「人を思いやる心」が育つよう心がけている。	53	11		
3	幼稚園は、生命を尊重する心や社会性のルールを守る指導をしている。	46	18		
4	幼稚園は、子どもの自主性や意欲を大切にしている教育活動をしている。	58	6		
5	幼稚園は、自然とふれあう経験を大切にしている教育活動をしている。	44	20		
6	幼稚園は、子どもたちが喜んで身体を動かして遊ぶよう努めている。	53	11		
7	幼稚園は、あいさつや手洗い・うがい、洋服の着脱、食事のマナーなど生活に必要な習慣が身につくように指導している。	35	27	2	
8	幼稚園は、食育を通して子どもたちの食に対する興味・関心を深めたり、郷土の文化を継承することの大切さを伝えている。	60	4		
9	幼稚園は、縦割保育の実践を通して、子どもたちが異年齢での関わりを深め、さまざまな子がいることを認めながら、互いに成長を喜び合える環境をつくっている。	60	4		
10	幼稚園は、どの子にも安心して過ごせる環境を整えるよう努め、あたたかい雰囲気になっている。	50	14		
11	幼稚園は、園だより、クラスだより、保護者会、各行事などを通して、教育方針や具体的な取り組み方を分かりやすく伝えている。	55	8	1	
12	幼稚園は、保育参加・各行事・ボランティアなどの保育の公開の場を設け、保護者に幼稚園を理解してもらう機会をつくっている。	50	13	1	
13	幼稚園は、未就園児の親子参加の会(ひかりクラブ)を通して、地域の子育て支援の場となるように努めている。	54	10		
14	幼稚園は、子どもの安全を考えた防災・防犯対策や指導を行っている。	48	15	1	
15	教職員は、協力し合って園児の保育にあたっている。	56	8		
16	教職員は、保護者の悩みや子どものことについて気軽に相談にのってくれる。	47	15	2	
17	教職員は、電話や来園者などに対し誠実な対応をしている。	52	11	1	
18	保護者として、子どもがこの園に入園して満足している。	61	3		

園の総合的なあり方

○この世にあるものや植物、動物、そして人々が、神さまのおかげで存在していて、全てが尊いものであるということ、言葉でも心の中の感覚的にも身につけています。だからこそ、いろいろなことに感謝の気持ちを持ち、全ての人々も自分もかけがえのない存在で、認め合えるようになっています。きっとこの時期に身につけたことは一生の糧となって、豊かな心を持つことができるでしょう。恵星幼稚園に入園して、我が子も私自身も、いろいろなことを学び、身につけることができました。

○縦割り保育の中で、思いやる心や信頼して安心して過ごすことができていると思います。一人ひとりと本当に丁寧に関わってくださり、先生方には感謝です。子どもたちがいきいきと過ごしている様子が印象的でした。

○「園児を一人の生活者として尊重し接して下さる。」「先生方が保育に対しても熱心。」「園の方針が皆に共有されており、いつも温かな雰囲気包まれている。」それらが園児や保護者に波及してよい環境が生まれているように思います。皆と共に成長を喜び合い、たくさんの人に見守られながら幼児期を過ごせたことが、今では親子の財産です。毎日のお祈りや園生活を通して、生きていく上で重要な人としての大切な根っこ部分を育てていただいたことに心から感謝しています。園からの配布物一つ一つからも、園児に対する愛情が感じられ、育児中の自分にとって励まされることが多くありました。

○子どもの個性を理解し、できるようになってほしいところは子どもの気持ちも聞いて寄り添い見守ってくれる。力を発揮できる場や長所を見つけて、先生みんなで認め、周りの子にも伝えてくれる。一人の子のことを先生みんなで話し合っ情報共有し、それぞれの先生が関心を持って関わってくれる。たくさんの子どもがいるのにすごいな、と感心します。子どものアイディアから一緒に遊びを発展させてくれるので、園に行くのを楽しみにし、安心して通っています。

○良い点は、①縦割り横割りの両方の活動があること ②様々なボランティアがあり保育にたくさんのお母さん方が関わっているところです。入園前まではほとんど家族との世界でしたが、入園して異年齢を含む子どもたちや、親以外の大人（先生やお母さん方）と日々関わり、子どもの世界がぐっと広がったのを感じます。また、絵本の世界から遊びが広がっていくことが多かったり、地域の人々と関わる機会があったりすることもとてもいいなと思いました。

○子どもが喜んで園に通っている環境を作って頂いていることに感謝しています。縦割り保育のおかげで、年上の友だちと遊ぶ機会もでき、憧れたり目標にしたり、本人の成長にも繋がっているように思います。どの先生にも親しく接していただき、友だち同士も男女や学年に区別なく遊んでいる様子がかがえて嬉しです。

○「子どもたちってかわいいでしょう！」と先生にも親のように、子どものそのままをかわいいかけがえのない存在だと感じていただいている様子にとっても感謝しています。子どもにとって何よりの力となり安心です。子どもたちが「毎日がたのしい！」「人生は素晴らしい！」「人って素敵！」と思えるように日々の保育に先生方の知恵や工夫、ひらめきが詰まっていることに感動しています。

具体的な保育に対して

○自主性や体を動かすことに注力されながらも、マナー食育など、生活習慣や文化を大切にする取り組みをされ、常に「より良く」という幼稚園や先生方の姿勢を感じありがたく思います。

○食育で郷土料理など季節に合った料理を子どもたちが体験していて良いと思います。園で育てた野菜を使ったメニューで、健康にも良いし、植物・野菜を育てていくことも良いと思います。

○縦割りのクラス編成で下の子のお世話をしたり、上の子に憧れたり、してもらったことをまた年下の子にできるという学年制にはない良さがあり、たくさんの心の成長が見られるところがいいと思います。発見したり、イメージしたりすることを自然に導いてくださり、生活の楽しみ方を自然に学んでいるな～と感じます。

○園外保育(バス・電車に乗るなども含む)や、食育などたくさんの経験を惜しむことなくさせてもらえる。子どもたち同士の楽しい思い出もできるとともに、社会のルールも学べ、自立していくにあたっての教育を行ってもらえていると思います。

○最後の一年になりましたが、親子共々楽しい三年間を過ごすことが出来ました。なかなか家庭では挑戦させることのない竹馬も、親子二人三脚での練習の日々は今となってはとても良い思い出になりましたし、のびっこデーの保護者の長縄も、大人になって久々のチームワークを経験し楽しかったです。先生方や縁あって出会ったお母さんたちの雰囲気は温かく、本当に楽しい幼稚園生活を過ごすことが出来ました。

○ただのお泊り保育ではなく、自分たちの足で歩いて電車に乗り、山登りの後にカレーを作る。キャンプを終えて「楽しかった～また星組のみんなでいきた～い！」と何度も言う子どもの姿から、安心して小学校へ送り出せると思いました。一つのイベントではなくて、年少の頃から優しく少しずつ積み重ねてもらった経験がこんな大きな力になることを見せてもらいました。入園前の説明会で期待した以上の三年間に心から感謝しています。既製のおもちゃや遊具がなくても楽しめること、子どもの自主性や意欲を育てること、食の大切さなど先生方のたくさんの愛情で伝えていただき、親子にとってかけがえのない三年間です。クラスだより(けいせいばたけ)がとても楽しみでした。

○ドライブスルーで園側に曲がる角に他の保護者の方が自転車で止まっておられると、運転が下手で曲がりにくいです。また、三角公園方面に園児が行くので運転席から見て左側に注意していたら、右側を高校生の自転車が通り抜けて危ない時があった。「自転車通りませす！」と先生が声をかけてくれる時は助かります。

ボランティアで入った時、「毎日子どもたちはこんなにいっぱい遊んで素敵なお話を聴いてうらやましい！」と感じます。毎日、宝物のようにキラキラした一日を生きています。私も一緒に育ててもらっていることに感謝です。先生方が子どもたちにしている聖書のお話を保護者も共有できたら…と思います。

➡①ドライブスルー時の自転車で迎えの方にはできるだけ道路にはみ出さないで停めていただくようにお声掛けいたします。また、三角公園に行く際は保護者が必ず付き添うようお願いしていますが、もう一度周知徹底いたします。

②子どもたちとの礼拝は私たち保育者にとっても一番大切な時間です。共有したいと思って頂けて感謝します。ボランティアや保育参加、お母さんの聖書教室、教会での礼拝や教会学校と、たくさん機会がありますので是非ご参加ください。

○親が苦手なことをどうしても避けて過ごしていましたが、友だちや先生方の励ましから自信をもって堂々と竹馬に乗れるようになりました。言葉で教え込んで無理やり形だけでできても意味がなく、その子の身体で感じ心でわかり成長に結びつく…という根気の要る園の関わりに頭が下がります。

年長児の等身大の自分を描く取り組みから、家庭で実物の野菜を見て描いたりするようになり、親がこうしなさい、と言ってもダメなんだな、集団での経験の素晴らしさを感じました。

○竹馬、昔あそびの伝承などに力を入れている点や、クラスだよりの発行で子どもたちの様子を丁寧にわかりやすく保護者に伝えている点など、素晴らしい環境だと思います。そうめん流しやキャンプなどとても良い経験をさせていただきました。竹馬に乗れる子が最近いないと思っていたのに…と近所のお年寄りに褒められて嬉しかったです。

○園の門が施錠されるようになり、子どもたちの安全が守られているように思い安心できます。しっかりした防犯対策になり、機械を設置していただき良かったです。

○防災・防犯対策や指導をより強くしてほしいです。

➡東日本に続き、身近な熊本でも大地震があり、今年度はこれまでの全員がクラスで座っている状態での「避難訓練」とは別に、子どもたちの活動中にも訓練を行うようにしました。防犯に関しても不測の事態に備える一方で、子どもに恐怖心を植え付けないよう配慮することも大切だと思っています。まず全職員が何よりも防犯防災意識をきちんと持って保育にあたりたいと思っています。春休み中には全職員による救命救急講習会を行っています。この日の預かり保育制限へのご協力に感謝いたします。

○子どもも先生のことを信頼していることがよく窥えます。本人が気が乗らないことでも、決して無理強いせずにしたくなるまで待ってくださる点、一人ひとりの個性を大切にしてくださる点、お迎え時や絵本ノートなどで子どもの様子を細かく教えてくださる点が良いと思います。食育で嫌いなものも残さず食べたりおかわりしたり…おかげで食に対する意欲関心が高まっています。

○食育は年長メインでなく、年少ももっと取り組ませてもいいと思います。立地の条件上、自然があまりないからこそ、バス・電車を使っての園外保育を年長に限らずさせてほしいです。また、「こどものとも」「母の友」は希望者のみ購入できるようにしてほしいです。絵本の内容(文学性のあるもの、体験から得た経験)をもっと重視し、子どもの心に本当に残る絵本を選んでもらいたいです。

➡①包丁や火を使う食育はにわかにならぬ年少児のどの子にも経験させることは安全上困難だと思いますが、三学期後半には年少が食材を使う活動もしています。次年度からはクラス(部屋)ごとの食育日を設けるなどして、年長以外の子どもももっと身近に食材にふれたり調理に関わることを増やす計画です。

②公共の乗り物を利用した経験がほとんどない子もいますので、集団での利用は学年が限られてくるのが現状です。基本は幼稚園でお預かりした園児を安全に保育し保護者の元に帰すことが第一義的な使命ですから、その中でまずケガをしにくいしなやかな身体作りをし自然体験へと発展しています。もっと自然があれば…とは私たちも熱望していることで、お母さんの思いに共感いたします。

③福音館書店は子どもや母親に寄り添って編集・本づくりをしている出版社だと認識しています。毎月の配本の中には好き嫌いや質に疑問を持たれる場合もあるかもしれませんが、自宅で何度も繰り返せる自分の絵本として楽しみにしている子どもたくさんいます。任意となると、保護者の意向で子どもへの機会が均等になりませんし、園が選書して配本しても、好みの違いや、すでにお持ちの方がいらっしゃるなど問題が出ると思います。園としては何より、どの子どもにも親子での読み聞かせの経験を保障したいとの思いで数十年続けている配本ですので、どうかご理解ください。

○いつも子どもたちの気持ちを尊重していただきありがとうございます。一つお願いが…。小学校で長縄活動があり、幼稚園では見てはいたけど経験がなく、戸惑ったり周りに迷惑をかけてしまうことがあるようです。できれば年長さんになった時にでも、みんなで縄跳びや長縄をする機会を設けていただけるとありがたいです。家ではなかなか長縄などの練習ができないので。

➡年長児での集団での長縄跳びは、発達段階上、必ず到達しなければならないことではありませんので、子どもたちの興味関心を喚起しつつも強制はしていません。卒園された兄弟さんはきっと幼稚園時代見ることで参加していたのでしょう。

竹馬も必ず乗れなければならないことではありませんが、年長時代に何か一つ努力してできるようになる経験や達成感を持ってほしいと取り組み、毎年全員が乗れるようになっていきます。同じ運動面の活動ですが、運動能力よりも練習量によって達成できる竹馬を恵星幼稚園では年長で選択しています。

小学生の長縄については放課後の園庭開放時に遊びに来てくだされば縄を回したり協力できると思います。

○⑦をCにしましたが、生活習慣は園でやろうと思えばできないこともないでしょうが、保育園ではありませんし、家庭の中で一対一で取り組むべきことと思ひ、我が子が出来ていないところは家庭でフォローし

よと思っています。自主性を育て、自発的に取り組み、得意なことを伸ばしている今の教育が素晴らしいと思っています。引っ込み思案で大人になかなか心を開かなかった我が子が、園で先生にしゃべったり甘えたりできるようになってくれて、涙が出るほど良かったと思ひ安心しました。

○子どもが喜んで登園し「お迎えが早いよ！」と言うほど園に居たいようで、帰ってからの話からもこの子にとって恵星幼稚園で本当に良かったと思います。絵本ノートでもちょくちょく子どもの様子は知らせてもらっていますが、親としては、もっと我が子の様子を知りたいと思ひ保育参加したものの、我が子は私を意識して動くし、他の子は「遊ぼう！」と言ってくるので、じっくり様子が見られず、我が子に気づかれないように園での様子を見る機会があれば…と思います。

➡保育参加で一日の流れや全体の様子はつかめると思いますが、お子さんがお母さんを意識し過ぎるのであれば、もっと構えずにさりげない風景の一部になれる園芸ボランティアやお皿洗いボランティアなどに参加なさってどうでしょうか？お母さんに別の目的があればことさら存在を意識せずに平常心で遊んでいますよ。

子どもの成長

○子どもたちがのびのびと育っている様子がほほえましい。運動能力が向上している。幼稚園が大好きで日曜日も園(教会学校)へ行けることがとてもうれしい様子です。お友だちとも一緒に遊べるようになって、協調性もついているようです。本人が毎日楽しそうなのが何よりです。

○入園して丸二年になろうとしています、一度も園に行きたくないと言ったことがありません。子どもにとって、楽しく安心できる場を与えてくださっていることを感謝します。何かを教え込むとか、しつけを厳しくとか目に見えるテクニックではなく、とにかく先生方一人ひとりが温かい心で子どもに接して下さっていることが一番恵星幼稚園の好きなところですよ。

○子どもたちがのびのびしている、自分で考える、話し合っ決めて等々、自主性が尊重されている。行動力が出てきたように思ひます。昨年度よりもっと目覚ましい成長をし、たくましくなりました。来年度の子どもの姿が今から楽しみです。

○いつも子どもを大切に丁寧に見てくださり、先生方のあたたかい見守りの中で我が子がすくすくと成長していることを感じます。始めは「一人で遊んだ」と言うことも多く心配しましたが、今では仲良しの友だちもできたようで、楽しく過ごしているのがよくわかります。ただ、私が仕事をしていてボランティアなどにも参加できず、申し訳ないと思っています。

○どの先生も子どもとしっかり向き合ってくれるので、のびのび過ごせて、通うのが楽しいそうです。この一年間でとてもたくましくなりましたし、何かをする際に「次はどうしようか」と自分で考えて行動に移しています。

教職員や保護者との関係性

○生活環境が変化し、親子共々不安定な状況でしたが、先生方がいつも声をかけてくださり、子どもを温かく見守って下さったので、とても安心できました。親のケアまでしてくれる幼稚園はなかなかないと思うので、私自身この園にして本当に良かったと心から思ひています。

○もう少し保護者と先生が話をできる機会が増えたら嬉しいです。

➡個人的なお話はお声かけしていただくか、連絡ファイルでお申し出くだされば時間を作ります。それともクラス懇談などのことでしょうか？具体的におっしゃってくだされば対応を考えます。

○先生もお母さんも無理してキツキツの園生活ではなく、先生たちの暖かさが心地良く、何でも話せる雰囲気がお母さんたちにも広がっているように思ひます。

○その日にすぐ相談に乗っていただき本当に助かりました。とにかく先生方が優しく受け入れてくださるので、安心して相談できます。

○いつも子どもの心に寄り添ってゆっくりと成長を見守ってくれるので、親としてもゆったりして気持ちにさせてもらえます。

○恵星幼稚園を卒園していない上の子や、まだ在籍していない下の子についての子育て相談もできる「相談日」が設けられているといいなあと思いました。

➡「相談日」という改まった形ではありませんが、お声かけくだされば時間をとってお話を伺います。そのお子さんのことをよく知らないまま無責任な助言になると申し訳ないので、学校の先生やスクールカウンセラーにご相談になる方法もあると思います。私たちでお力になれることがあれば、お気軽にお声かけください。また未就園のお子さんの相談は、ひかりクラブ担当の教師や支援員が行っていますので、是非お声かけください。

○いつも子どもたちのことを大切に接していただけてありがたく感謝しています。ただ、慌たしいお迎えの時間ではありましたが、先生に園児が何度も話しかけようとしているのに他の保護者とお話しされていたことがあり、話の途中で多少だけ保護者に断りを言って、園児にひとこと説明してあげたいのに…と残念に思ったことがありました。私自身も行動を振り返り反省させていただいた場面でした。

➡その園児にも、そこに居合わせた方にも申し訳ないことをしました。このご意見を読んで、全職員が「我がこと」と捉えて反省しました。話に夢中で隣で寂しい思いをさせないよういつも注意しているつもりですが、今後も気をつけてまいります。

その他

○保護者への連絡事項をタイムリーにくださるのはありがたいのですが、園だより・クラスだより・カレンダーなど様々な場所に統一性なく書かれているので、「だいじなこと」「変更点」などカテゴリ化して一つにまとめて連絡してくださると助かります。その際、活字で1枚にまとまっているとわかりやすいです。翌月のカレンダーを25～26日に配布されると予定が立てやすくてうれしいです。連絡ファイルの紙が、他の保護者の方の目に触れる位置に置いてあることがあったので、目につかないようにしていただければ嬉しいです。

➡ご指摘の点、来年度から次のように改めます。

- ①園児カレンダーと園だよりを1枚にまとめ、前月25日(土日の場合はその前に)に配布します。
- ②園だより発行後に生じた必ず保護者の方に知って頂きたい連絡は、A5用紙に別印刷で配布します。
- ③子どもたち自身に気をつけてほしいこと(何かを持ってくるとか、もし忘れても翌日自分で持ってくればいいものなど)は担任が口頭で伝え、その様子をクラスだよりで伝えることはあります。
- ④連絡ファイルのルーズリーフは透明でないケースに保管するように早速改めました。

また、保護者間でののお便りも全て教師が預かってファイリングするように保護者会でお伝えしましたので皆さんご協力くださっています。

○お誕生会当日とてもバタバタして疲れるので、子どもたちと一緒に親も出し物などゆっくり観て楽しめたらな～と思います。例えば4、5月生まれの誕生会は子どもたちとゆっくり過ごし、6、7月生まれの保護者が食事の準備をする等…。

➡誕生会では保護者の皆さんにたくさんの協力をしていただきいつも感謝しています。小さい弟妹やお仕事をお持ちの保護者の方は年一回の誕生会に出席するだけでもご苦労なさっていますから、現在の方法の方が良いと思っていられちゃう方もおられると思います。今後どのような方法がベストか、幹事会ともご相談しつつ考えていきます。